



# 貨物列車の迂回運行が可能に 許可書・認可書を交付しました



—伯備線・山陰線・山口線を経由して不通区間を迂回—

「平成30年7月豪雨」の影響により、現在、山陽線 三原駅～白市駅間及び八本松駅～瀬理駅間並びに柳井駅～下松駅間が不通となっており、同区間を運行する日本貨物鉄道株式会社の貨物列車も運行できない状況となっています。

そこで同区間が再開するまでの間、山陽線 倉敷駅・新山口駅間において、伯備線・山陰線・山口線を経由し、不通区間を迂回して貨物列車の運行を実施するため、日本貨物鉄道株式会社から「第二種鉄道事業許可」と西日本旅客鉄道株式会社から「鉄道線路使用条件設定認可」等が申請されました。関連する届出等とあわせて、山陰線「伯耆大山駅」～「益田駅」、山口線「益田駅」～「新山口駅」の区間について、貨物列車が運行できるようにするものです。



日本貨物鉄道株式会社へ

中国運輸局としては、速やかな行政手続きにより復興を支援すべく、即日決裁を行い、中国運輸局局長室にて22日(水)15時より、日本貨物鉄道株式会社に「許可書」、西日本旅客鉄道株式会社に「認可書」を交付しました。



西日本旅客鉄道株式会社へ

この度の迂回運行による輸送量は1日1往復、1編成あたり貨車7両で350トン/日となります。中国運輸局では、職員一丸となって、これからも災害復旧を全力で支援していきます。

## 貨物列車の迂回ルート

